

(様式 5-2) 地域重点施策推進事業事後評価調査(平成26年度実施分)
(振興局調整費)

地域振興局名:北秋田地域振興局

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
建設部	小野 久喜	企画調査課	企画監理班	熊谷 聡	0186-62-3111	ウェルカムフラワー事業	協働による美化活動の推進の一環として、各種団体や地域住民、振興局職員が連携して清掃・草刈り・植栽等を行うことにより美化活動への関心及び相互交流を促進する。	106,164	直営	県道交差点の緑地帯において商工会と振興局が協働で花壇の植栽を行った。 実施日:9月4日 参加人数:40名	・県 ・大館能代空港利用促進協議会	・県 ・JA ・商工会 ・金融機関 ・自治会	平成26年5月19日	地元新聞(北鹿新聞、大館新報、秋北新聞)に取り上げられたことで、地域住民に対し美化活動への関心に寄与した。	終了 平成27年度からは大館能代空港利用促進協議会が主体で実施。(開催日:平成27年9月11日)
						平成26年7月1日～平成26年11月30日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	企画・地域振興班	花方 聡	0186-62-1251	地域のチャレンジャー応援フォーラム開催事業	地元で新たなビジネスに挑戦する人々のメッセージを紹介し、次代を担う子どもたちが地元に残って頑張ろうとする気運を盛り上げる。	69,975	直営	第1回(9月26日) 会場:北秋田市交流センター 参加者:80名 第2回(2月10日) 会場:大館国際情報学院 参加者:143名	県	県民	平成26年7月28日	参加者アンケートでは、9割以上が良かった、今後には生かせると回答しており、十分な効果があった。	終了 若者の地域定着への取組は別途進める。
						平成26年9月26日～平成27年2月10日									
鷹巣阿仁福祉環境部	石山 明	企画福祉課	調整・障害者班	佐藤 幸生	0186-62-1165	“あんしん”在宅ケア推進事業	医療・介護関係者の連携による“あんしん”在宅ケアに向け、「課題の共有」と「顔の見える関係」づくりにより、ネットワークを強化する。	112,265	直営	鷹巣阿仁地域多職種連携研修会 実施日:12月3日 場所 北秋田市市民病院	県	医療、介護、福祉関係者	平成26年10月20日	在宅医療を推進するための課題の抽出と対応策の検討を通じ、関係者間のネットワークづくりにつながった。	多職種のネットワークを在宅医療の普及につなげる取組が必要である。
						平成26年10月20日～平成27年3月31日									
大館福祉環境部	相澤 寛	健康・予防課	健康・予防班	成田 智尋	0186-52-3952	STOP!ノロディフェンダー支援計画	冬季(11月～4月)にはノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行し、福祉施設などでの集団発生が報告されている。施設への持ち込み、感染拡大を防止するためには、手洗い、吐物処理及び消毒の徹底が必要である。福祉施設関係職員が感染防止策を的確に実施することができるよう演習用支援ツール(DVD、リーフレット)を作成し演習を実施することにより、福祉施設における感染防止策の徹底を図り、集団感染の防止や地域における流行規模の縮小に役立てる。	312,798	直営	1 支援ツールの作成 (1)と物処理防護具セット1800セット (2)リーフレット 1500部作成 (3)演習用DVD(手洗い方法、吐物処理法)作成 社会福祉施設・法人60カ所へ配布 2 支援ツールを活用した演習の実施 (1)平常時からの予防・啓発活動 出前講座6回、施設内演習に対する支援 (2)感染症集団発生時の危機介入 調査・介入時、支援ツールを活用し感染対策の徹底に役立てた。	県	社会福祉施設職員	平成26年11月10日	リーフレットやPPEセット、手洗い教育用キット等を活用して出前講座を実施し、感染予防対策、手技の徹底に効果的であった。手洗い教育用キットを用いた手洗い教室は、参加者からも好評であり、手洗いのポイントの周知や必要性の意識づけにもつながった。	今期の感染性胃腸炎の集団発生は、研修や出前講座を実施した結果、例年より発生件数を少なくすることができた。しかし、インフルエンザに関しては、例年の2倍以上の報告があり、対応の遅れや対策が徹底されないことが、感染拡大、重傷につながったと考えられる事例もあった。こうした事態を防ぐため、福祉施設、医療機関における通常時からの感染対策の徹底、早期対応のための体制整備が課題である。次年度以降は、関係職員を対象に研修会を開催し意識啓発する。
						平成26年11月10日～平成27年3月31日									
農林部	高橋 徹	農業振興普及課	産地・普及班	高橋 裕貴	0186-62-3950	薬草栽培に向けた調査研修支援事業	薬用作物は、8割以上を中国から輸入している状況であるが、製薬メーカーでは国内需要の拡大を進めており、耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化につながる作物として北秋田地域に薬草栽培を導入・定着させる。	45,680	直営	①北秋田市薬用植物研究会の設立 ②先進地視察(八峰町) ③薬草栽培に向けた調査研修支援(報告書の作成)	県	北秋田市薬用植物研究会	平成26年11月17日	生産者も含めた関係機関による組織化(研究会設立)を図ったことで、先進地視察等を通じて、生産希望者をはじめ指導機関の関心も高めることができた。 また、薬草栽培の基礎的な知識についても理解を深めることができ、通常の農産物栽培とは異なることを認識させることができた。 JAあきた北央では、薬用作物の実用栽培を念頭に置いた試験を開始するため、基礎知識を有する候補者を選定するなど、具体的な準備が必要である。	JAあきた北央と榊ツムラとのマッチングを進めることができた。
						平成26年4月1日～平成27年3月31日									

(振興局調整費)

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
鷹巣阿仁福祉環境部	石山 明	企画福祉課	調整・障害者班	渡辺 静香	0186-62-1165	地域あんしんsosキャッチ&サポート事業	地域に特化した相談・支援機関、交流サロンマップを作成し、支援を必要とする方々のサインを支援者が早期にキャッチし、必要な支援や仲間作り、社会参加のきっかけ作りに繋げる。	176,096	直営	各相談窓口・高齢者が集うサロンの場所・電話番号・相談内容等を記載、各旧町毎に場所を示した簡易なマップを掲載。作成したマップは関係機関・民生委員等へ配布。	県	地域住民	平成26年11月25日	関係機関に配布し、活用してもらったほか、当部の事業やキャンペーン等で配布することにより、相談機関やサロンの周知につなげることができた。	支援を必要とする方のSOSに対する気づきを適切な支援につなげるための関係機関の連携の強化が必要である。
						平成26年11月25日～平成27年3月31日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	企画・地域振興班	花方 聡	0186-62-1251	大館・北秋田観光事業情報発信強化事業	内陸線及び大館能代空港の利用促進の啓発並びに伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けたPRを進める必要がある。また、地域の食文化である馬肉について継続した情報発信を行う必要がある。	197,620	直営	①庁舎前啓発看板のリニューアル ②馬肉マップ(ウマップ)のリーフレット作成 作成部数:6,000枚	県	県民	平成26年12月15日	庁舎前看板は経年劣化していたが、リニューアルした結果、人目を引くようになり、PR効果が高まっている。ウマップ(リーフレット)は県内外観光拠点等に配布し、地域食材のPRにつながっている。	終了 地域食材のPRは重点事業の中で継続。
						平成26年12月15日～平成27年3月31日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	企画・地域振興班	花方 聡	0186-62-1251	花のまちづくり推進アピール事業	国民文化祭開催時期に合わせ、大館能代空港ターミナルビルにウェルカムフラワーを設置し、花によるおもてなしを行う。	110,000	委託	空港ターミナルビル到着ロビーに県産ダリアと県産花によるウェルカムフラワーを設置 期間:10月3日～9日	県	大館能代空港利用者	平成26年9月11日	国民文化祭の玄関口となる大館能代空港において県外からの訪問客の目を楽しませるとともに国民文化祭をPRすることができた。	終了
						平成26年10月3日～平成26年10月9日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	観光推進班	渡部 進雄	0186-62-1251	秋田大館ハチ公フェア in 渋谷	忠犬ハチ公ゆかりの渋谷駅において、ハチ公のふるさと「大館」と秋田県を広く発信し、大館及び秋田県の認知度向上による交流人口増加や地域産品の需要拡大を図る。	1,688,479	負担金	①清掃奉仕(11月2日) 場所:渋谷駅ハチ公広場 ②きりたんぼづくり体験(11月2日～3日) 場所:渋谷区民総合センター 実施主体:陽気な母さんの店 ③秋田県、大館市のPR、移住相談(11月2日～3日) 場所:東横線渋谷駅改札 ④ワンダフルハチくん披露(11月2日) 場所:くみんのひろは野外ステージ ⑤秋田犬の散歩(11月2日) 場所:くみんのひろはサッカー場	秋田大館ハチ公フェア in 渋谷実行委員会	首都圏在住者	平成26年10月3日	秋田犬のふる里である大館及び秋田県の首都圏における認知度アップに貢献した。	終了 秋田犬及びハチ公による地域おこしやPRは継続して取り組む。
						平成26年11月2日～平成26年11月3日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	観光推進班	渡部 進雄	0186-62-1251	森吉山樹水フォーラム	樹水を有する観光地として有名な、山形県の蔵王、青森県の八甲田の関係者と意見交換を行うことにより、森吉山の樹水の魅力を再確認し、今後の樹水観光の可能性を探る。	561,902	直営一部委託	樹水フォーラムの開催 開催日:2月27日 会場:阿仁ふるさと文化センター 参加者:140名 内容 基調講演「樹水の魅力を発信しよう」JTB国内旅行企画東北事業部担当部長 パネルディスカッション「三つの樹水の特長と魅力」東北観光推進機構、酸ヶ湯温泉、高宮ホテルグループ、NPO森吉山	県	地域住民、他県の樹水関係者	平成27年12月3日	冬期間の森吉山観光について、八甲田、蔵王と並ぶ3大樹水の一つとして連携して盛り上げていく気運が醸成された。	終了 森吉山の樹水による観光振興は継続して実施する。
						平成27年12月3日									
総務企画部	渡辺 哲也	地域企画課	観光推進班	渡部 進雄	0186-62-1251	森吉山樹水フォーラム	樹水を有する観光地として有名な、山形県の蔵王、青森県の八甲田の関係者と意見交換を行うことにより、森吉山の樹水の魅力を再確認し、今後の樹水観光の可能性を探る。	561,902	直営一部委託	樹水フォーラムの開催 開催日:2月27日 会場:阿仁ふるさと文化センター 参加者:140名 内容 基調講演「樹水の魅力を発信しよう」JTB国内旅行企画東北事業部担当部長 パネルディスカッション「三つの樹水の特長と魅力」東北観光推進機構、酸ヶ湯温泉、高宮ホテルグループ、NPO森吉山	県	地域住民、他県の樹水関係者	平成27年12月3日	冬期間の森吉山観光について、八甲田、蔵王と並ぶ3大樹水の一つとして連携して盛り上げていく気運が醸成された。	終了 森吉山の樹水による観光振興は継続して実施する。
						平成27年12月3日									